

11月 新着図書

箱庭の巡礼者たち

著者名: 恒川光太郎
出版者: KADOKAWA



ある夜、少年は優しい吸血鬼を連れ、竜が棲む王国を出た。祖母の遺志を継ぎ、この世界と繋がる無数の別世界を冒険するために。時空を超えて旅する彼らが出会った不思議な道具「時を跳ぶ時計」、「自我をもつ有機ロボット」、そして「不死の妙薬」。人智を超えた異能をもたらすのは夢のような幸福か、それとも忘れられない痛みか。六つの世界の物語が一つに繋がる一大幻想奇譚。

「ありがとう」の教科書 良いことばかりが降りそそぐ感謝の技術30

著者名: 武田双雲
出版者: すばる舎



人生がポジティブに動き始める魔法の口ぐせ。感謝を数え出すと幸せが増えていく。世界で活躍する書道家の集大成。

地図と拳

著者名: 小川哲
出版者: 集英社

「君は満洲という白紙の地図に、夢を書きこむ」日本からの密偵に帯同し、通訳として満洲に渡った細川。ロシアの鉄道網拡大のために派遣された神父クラスニコフ。叔父にだまされ不毛の土地へと移住した孫悟空。地図に描かれた存在しない島を探し、海を渡った須野…。奉天の東にある“李家鎮”へと呼び寄せられた男たち。「燃える土」をめぐる、殺戮の半世紀を生きる。

ハヤブサ消防団

著者名: 池井戸潤
出版者: 集英社



連続放火事件に隠された一真実。東京での暮らしに見切りをつけ、亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミステリ作家の三馬太郎。地元の人々の誘いで居酒屋を訪れた太郎は、消防団に勧誘される。迷った末に入団を決意した太郎だったが、やがてのどかな集落でひそかに進行していた事件の存在を知る。

乱鴉の空

著者名: あさのあつこ
出版者: 光文社

ニヒルな同心・木暮信次郎×元刺客の商人・遠野屋清之介消えた信次郎の謎。火傷の痕をもつ死体。泡銭を夢見る者たち。因縁の二人の行きつく先は？

空をこえて七星のかなた

著者名: 加納朋子
出版者: 集英社



大丈夫。昼間だって、見えないけれど星はそこにちゃんとあるから。南の島で、山奥のホテルで、田舎町の高校で。星を愛し星に導かれた人々が紡ぐ七つのミステリー。

嘘つきジェンガ

著者名: 辻村深月
出版者: 文藝春秋

見栄、不安…ほんの出来心から積み上げてしまった嘘。一線を越えたら、もう戻れない。騙す側、騙される側、それぞれの心理を巧みに描く小説集。

タイムトラベル世界あちこち旅日記

著者名: 益田ミリ
出版者: 毎日新聞出版



ポーランドで飲んだおいしい発酵スープ、台湾で食べた花の香りのする温かいお団子…。タイムトラベルをするかのように1987～2019年の世界の旅を振り返るエッセイ。あの頃の旅は、今でも大切な宝物。さまざまな国の人との出会いから生まれたあたたかくて切ない数々のエピソードが、互いを思い合い日常を生きることの大切さを伝える。

大丈夫、いつもそばにおるよ 奇跡は起こるべくして起こる！—ある夫婦の介護奮闘記

著者名: 坪井恵
出版者: Clover出版

昨日まで元気だった夫が倒れて…突然の介護生活が始まった。泣いたり笑ったりの毎日、夫婦で固く手をつないで、ここまで歩いてきた。「あきらめなければ必ず奇跡は起こる」ある夫婦の奇跡の介護奮闘記。

いつもの木曜日

著者名: 青山美智子
出版者: 宝島社

2021年、2022年本屋大賞2位受賞作家・青山美智子さんが贈る『木曜日にはココアを』に繋がる温かな物語。累計26万部を突破した『木曜日にはココアを』。その12編の物語に登場したワタル、朝美、えな、泰子、理沙、美佐子、優、ラルフ、シンディ、アツコ、メアリー、そしてマコ。これは彼、彼女たちがあの日に会う前の物語。

11月

新着図書

レッドクローバー

著者名:まさきとしか
 出版者:幻冬舎



『あの日、君は何をした』『彼女が最後に見たものは』シリーズ累計40万部突破の著者、最高傑作ミステリ。まさきとしかが……いよいよ、くる！家族が毒殺された居間で寛ぎラーメンを啜っていた一人の少女。彼女が——家族を殺したのではないか。東京のバーベキュー場でヒ素を使った大量殺人が起こった。

わたしがいじわるオオカミになった日

著者名:アメリ・ジャヴォー アニック・マソン ふしみみさを
 出版者:パイインターナショナル

いじめられっこが、ある日いじめっこに。でも……。心理学者が手がけた、いじめ問題を乗り越えるための物語絵本。いじめっこからの嫌がらせに耐えていた私。でも、ある日いじめのターゲットが別の男の子に移ったとき……。いじめにあっってしまった時、どう対処するべきか。

パンドロぼう おにぎりぼうやのたびだち

著者名:柴田ケイコ
 出版者:KADOKAWA

え…パンは？「パンドロぼう」第4弾はまさかの展開！！おにぎり屋をいとなむおにぎり一家の”おにぎりぼうや”は、毎日毎日おにぎりばかりの食卓にうんざり。ある日みしらぬ食べものに出会って…。「パンドロぼう」を語る上で絶対に欠かせない、ファン必読の物語！

雨滴は続く

著者名:西村賢太
 出版者:文藝春秋

二〇〇四年の暮れ、北町貫多は、甚だ得意であった。同人雑誌「煉炭」に発表した小説「けがれなき酒のへど」が同人雑誌優秀作)に選出され、純文学雑誌「文豪界」に転載されたのだ。これは誰から認められることもなかった三十七年の貫多の人生において味わったことのない昂揚だった。次いで、購読社の「群青」誌の蓮田という編集者から、貫多は三十枚の小説を依頼される。

青鬼調査クラブ 6



著者名:noprops 黒田研二 波摘 鈴羅木かりん
 出版者:PHP研究所

王の眠りをさまたげるな—『何か』がこの地下空間にいる。たった一日のうちに、約二十人の客と従業員が行方不明になった「まほろば遊園地」。この事件に「青鬼」が関係しているのではないかと考えたレイカたちは、いまは廃墟となっている遊園地の調査に乗り出した。これ以上、悲しい犠牲者を出さないために…！『青鬼 ソンビだらけの遊園地』の裏で起きていた、もうひとつの大事件！！小学上級から。